

トナリ

隣りあい、話し、つくり、描き、つながるところ TONARI A Neighborhood Project

トナリはひとりひとりとコミュニティのための場所です。
千代田区のアートセンター、アーツ千代田 3331 (www.3331.jp) を拠点に、表現を通して個人とコミュニティの力を育てることを目指し、2019 年から活動を始めました。

今年は COVID-19 に見舞われ、ほぼすべての世代の人が生活スタイルや環境の変化に戸惑っています。今までにないストレスを受けたり、危機的な状況にいる方もおられます。

このストレスフルな状況のなかでトナリにできることは、ひとりひとりが再び人とのつながりを見だし、ひと息ついたあとに、自分の力を育て、回復する機会をつかんでもらうことです。

そのために、トナリでは造形と表現の力を積極的に生かします。

今回は、春から学校のお休みがつづき、今までとは違う夏休みをすごしている子どもたちが、自分たちの周囲の環境とのつながりについて感じたり、表現したり、考えるきっかけとなるような子どものためのワークショップ「こどもかいぎ わたしたちでつくるまち」を用意しました。

このワークショップが、お子さんはもちろん、ご家族も一緒に表現の楽しさ・面白さを体験し、お子さんとの新しいコミュニケーション・チャンネルとなることを願っています。

トナリの活動内容を以下に添付しました。
これからも、いろいろな活動への参加をお待ちしています。

トナリ 代表 西原珉

※トナリはアーツ千代田 3331 との共同プロジェクトです。

代表 西原珉（にしはらみん）プロフィール

1990 年代の東京にてライター、評論、キュレーションで活動したのち、渡米。アート・マネジメントをしつつ、ロサンゼルス福祉事務所でソーシャルワーカー／メンタルヘルスセラピストとして働く。個人対象にセラピー、アートセラピーを行うほか、低所得者住宅、DV シェルター、シニアホーム、コミュニティ・センターなどでソーシャル・ワークとしてのアート・プロジェクトを企画してきた。東京家政大学准教授。米国カリフォルニア州臨床心理療法士。

トナリの活動

トナリのミッションは、個人が表現体験を通してレジリエンス（回復力）を高めることができる場所と機会を提供すること。

そのために、次のような活動を行います。

■ワークショップ

現代美術アーティストから美術教育、臨床心理士・芸術療法士、他ジャンルまで、多様な主催者によるさまざまな内容ワークショップを開催し表現体験の機会をつくります。精神的・経済的な面でもレジリエンスとなるような技術（刺繍、製品化など）を習得する機会もあります

■心のケアと治療的アプローチ

リハビリとレジリエンスを高めることを目的としたアート活動を専門家、あるいは専門家の監修のもとがに実施します。親子のアートセラピー、グループ制作、コラージュ、箱庭制作などを主にを行います

■外部ワークショップ

人間関係向上・マインドフルネス・リラックスなどテーマに応じて、あるいはアートプロジェクトとしてのワークショップを地域の学校、コミュニティセンター、あるいは地域の職場等で出張実施します

■サポートグループ

介護、子育て、子育てパパ、パワハラ被害、人間関係などテーマごとにサポートグループを定期開催しピアサポートを通じて心の回復をはかります

■ボランティアとファシリテーターの養成

講習を通して、多様な来場者に適応できるスキルを備えた人材、適切なファシリテーションができる人材を養成します

■Little Place Service Center 小さなサービスセンター

個人の相談、カウンセリング、一部のサポートグループなど心理相談はリトル・プレイス・サービスセンター Little Place Service Center (LPSC) で受け付けます。

個人情報、相談内容に関しては米国カリフォルニア州の厳密なレギュレーションに則り保持し、外部に伝わることはありません

■カウンセリング

子育て・介護・いじめ・家族間の問題・メンタルヘルス・高齢化・多文化摩擦等、ひとりひとりの問題をお聞きし、トナリの臨床心理士による心理カウンセリングや福祉サービスにつなげます

問い合わせ

メールアドレス【 tonarijp@gmail.com 】

twitter【 <https://twitter.com/TONARI05704942> 】